

招 集 期 日	平成 2 9 年 2 月 1 6 日 ( 木 )		会議の場所	教育委員室
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午前 1 0 時 0 0 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午前 1 1 時 2 5 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	柿 沼 拓 弥 委 員	出 席	
古市明教育長職務代理者	出 席	高 瀬 賢 一 委 員	出 席	
春 山 教 子 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説明のための出席者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	橋本教育総務課長	栗原学校教育課長
	小島学校給食センター所長	池澤生涯学習課長	山木スポーツ振興課長	奥野図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開 会		2 月 定 例 教 育 委 員 会 を 開 会		
日 程 第 1 前 回 会 議 録 の 承 認	教育長	<p>教育委員会の会議は原則公開であるが、人事に関する事件その他の事件について出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは公開しないことができる。本日の日程第 4 議事において議案第 1 号及び第 2 号は議会の議決を経るべき議案、第 3 号及び第 4 号は人事に関する案件となるため非公開としてよろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>		
	教育長	議案第 1 号から第 4 号までを非公開とする。		
	教育長	1 月 定 例 教 育 委 員 会 の 会 議 録 の 承 認 に つ い て 諮 っ た。 <p>異議なしの声あり</p>		
	教育長	前 回 会 議 録 は 、 承 認 さ れ た 旨 宣 し た。		
	教育長	報 告 事 項 1 に つ い て 、 学 校 教 育 課 長 か ら 説 明 を 求 め た。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 報告事項1 平成28年度第2回生徒指導に関する調査結果について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>調査期間は、4月1日から12月31日までである。小学校の暴力行為等は4件、すべて同じ児童で発達障がいによるものであったが、介助員のケアもあり、最近は落ち着いている。いじめの認知件数等は昨年2件から12件に増えたが、埼玉県の方針により今年度より軽微なものも報告することとなったための増加と捉えている。不登校については、9人であり、昨年並みの人数である。中学校では、暴力行為等は3件で、全て解決している。いじめの認知件数等は、1件で昨年と同数であった。不登校は、学校の努力もあり、昨年度の34人から26人に減ったが、大きな課題であるため、引き続き不登校解消に向けて取り組んでいきたい。</p>
<p>報告事項2 埼玉県PTA連合会各地区小・中学校PTA役員等研修会兼羽生市PTA連合会家庭教育研修会の結果について</p>	<p>教育長</p>	<p>報告事項2及び3について、生涯学習課長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項3 羽生市産業文化ホールの指定管理者の社名変更について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>1月21日にワークヒルズで開催した。教職員を含む小中学校PTA会員144名の参加があった。東海大学スポーツ医科学研究所教授の小澤治夫氏を招き、「子どもを一人前に育てる大人の責任～学校の責任、家庭の責任～」と題し講演を行った。講師の学校の先生としての体験を基に、理論に基づいて非常に分かりやすく講話をいただいた。研修会を機会にPTA会員の交流を深めながら、新たな視点でPTA活動の資質や家庭での教育力の向上につなげたい。</p> <p>産業文化ホールの指定管理者は、株式会社ケイミックスを指定することについて12月の定例市議会にて議決された。この度、株式会社ケイミックスが取り組んできたPPP事業をさらに発展させるため、PPP事業部門を新たに設立する株式会社ケイミックスパブリックビジネスに承継させるため、指定管理者の社名が変更となるものである。このことについては、3月定例市議会にて報告を行う予定である。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 平成28年度ニュース スポーツ出前教室の結 果について</p>	<p>教育長</p> <p>スポーツ振興課長</p>	<p>報告事項4及び5について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p> <p>11月3日から12月18日までの期間で合計10教室開催し、延べ763人の参加があった。今回体験を行った「パスラグビー」は衝突が激しく、ルールも複雑なラグビーを簡単にしたもので、誰もが気軽に楽しめる種目としてスポーツ推進委員が考案した。昨年度に引き続き健康づくり推進課の協力により羽生市健康チャレンジ指定事業の一環として、インフルエンザ予防に関する講話を行った。今後も健康づくり推進課とのタイアップにより、スポーツを行うきっかけづくりとしての出前教室に取り組んでいきたい。</p>
<p>報告事項5 第12回羽生市フロア カーリング大会の結 果について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>1月22日に羽生市体育館メインアリーナにて開催した。対象者は市内在住・在勤・在学者で、96チーム、368名の参加があった。協議は予選リーグにて6チームの総当たり戦を行い、予選リーグの1位から6位までそれぞれのグループに分かれて決勝のトーナメント戦を行った。6歳から90歳まで幅広い年齢層の参加があり、和やかな雰囲気の中にも競技では熱い戦いを繰り広げ、大会を盛大に行うことができた。今後もフロアカーリングの更なる充実を図り、指導・普及に努めたい。</p>
<p>報告事項6 リサイクルフェア実 施結果について</p>	<p>教育長</p> <p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>報告事項6及び7について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p> <p>1月13日から15日までの期間で、郷土資料館展示室にて実施した。提供冊数は、市民からの寄贈された不要図書800冊、市立図書館で不要となった図書6,149冊の計6,949冊となった。4日間で公共機関9施設、市民458人が訪れ、3,866冊を無償提供し、利用率は55.6%であった。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項7 平成28年度蔵書点検 結果について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p> <p>教育長</p> <p>高瀬委員</p> <p>学校教育課長</p> <p>春山委員</p> <p>学校教育課長</p> <p>柿沼委員</p>	<p>1月4日から1月27日までの期間で、蔵書の約17万8千冊を対象に職員と窓口業務の委託業者により1冊ずつバーコードリーダーで読み込み、点検した。その結果、127冊の不明図書があり、全体に対しての割合は0.07%であった。視聴覚資料は2,802点あるが、不明となったものは無かった。過去の蔵書点検より3年間不明となっているものは除籍処分とする。</p> <p>報告事項に関して質問・意見を求めた。</p> <p>生徒指導に関する調査結果について、小学校の不登校9人の内訳の人数は高学年が多いが、小学校で不登校だった生徒は中学校ではどうなっているか。</p> <p>小学校で不登校だった場合、中学校に行っても不登校となる傾向が多いが、中には中学校に入学し環境が変わったことをきっかけに回復する子もいる。その後また不登校にならないよう、各学校では、2、3日休んだら家庭訪問を行う等、今まで以上に丁寧に対応している。その結果、不登校は減少傾向にある。</p> <p>不登校やいじめの問題の対応について、平成28年度は羽生市の臨床心理士を雇用したが、どのような取組であったか。</p> <p>今年度、羽生市専属として雇った臨床心理士は各学校からの評判が大変良い。専門の立場から特別支援学級及び通常学級について、また、いじめにあたり不登校に繋がったりする可能性のある子について、事前に適切なアドバイスをいただいている。教職員もこれを学び、発達障がいによることが理解できずに叱ったり、子どもや保護者に適切なアドバイスができなかったりという部分が減ってきたように感じる。</p> <p>不登校の人数は中学校で34名から26名に減っていることを聞き、ほっとしている。ある中学校で聞いた話だが、前の中学校で不登校になり担任の先生ともうまくいかなかった生徒が、羽生市</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 平成29年度羽生市教育委員会グランドデザイン及び教育行政重点施策（案）について</p>	古市委員	<p>の中学校に転校してからは担任との面会ができているとの事だった。学校が一生懸命取り組んでいる様子が伝わってくる。今後も引き続き生徒のフォローをお願いしたい。</p>
	生涯学習課長	<p>産業文化ホールの指定管理者について、これまで毎年開催されていた第九の公演が一時は羽生市で開催されなくなりそうになったが、楽団と指定管理者が協議を重ねて、開催に向け上手くまとまりそうだとのことである。指定管理者が利用者の目線に立つことにより産業文化ホールの利用率も上がり、充実した活動となるであろう。全ての利用者にとって使いやすく、文化の中心となるよう運営していただければと思う。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項1について教育総務課長から説明を求めた。</p>
	教育総務課長	<p>教育委員会のグランドデザインについては、従来の5Sの精神を踏襲しつつ、次期の教育振興基本計画の礎になるよう、若手職員等の意見も取り入れ、各課で練りに練った躍動感のあるデザインに一新した。学校教育部、生涯学習部のグランドデザインは、それぞれの事業を分かり易く表示するため、従来とほぼ同じ構成としている。</p> <p>学校教育部の新規重点事業は、「生きる力をはぐくむ学校教育の</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>推進」において、学力アップテストの実施・活用、プレゼンテーション能力育成活動事業、「教育環境の整備・充実」においては、小中学校校舎等の大規模改修、「学校給食の充実と食育の推進」では、学校給食センターの設備の更新工事を予定している。</p> <p>生涯学習部の新規重点事業は、「生涯学習の推進と文化活動の活性化」において、岩瀬グローバルタウン構想「ちょっとだけ英会話講座」特別講座の開催、市民講師登録制度の開始、「文化財の保護・活用と芸術文化の振興」においては、永明寺古墳出土品の研究、ムジナモ「野生復帰」活動の推進、「生涯スポーツの振興」では、羽生市体育館の柔道場の畳の入替、健康体力づくり講演会の開催、剣道教室の開催を予定している。</p> <p>平成 29 年度より追加された羽生市学力向上グランドデザインについては、学力向上に対し、教育委員会・教育研究会、市内小中学校、家庭・地域、学力向上年間計画により PDCA サイクルを実施するという 4 つのアプローチにより学力を伸ばすという取組を、見易い形にデザインした。</p> <p>同じく平成 29 年度より追加された「学力向上重点 7」は学力向上のための具体的な施策を表したものである。</p> <p>さらに、グランドデザインに基づく施策、事業の詳細を、「平成 29 年度 羽生市教育行政重点施策」としてまとめた。</p> <p>教育長 協議事項 1 について質問・意見を求めた。</p> <p>教育長 内容については、予算に関係するものは市議会で議決されないと実行できないものもあるため、考慮の上協議をお願いする。教育委員会の英知を結集し、部長、課長はもちろん、その他の職員も含め皆でディスカッションし、これまで積み上げてきたことも活かしつつ、新たな形でスタートするという視点で作られたと受け止めている。</p> <p>高瀬委員 学校教育部の「羽生市学力アップテスト」と、「全国プレゼンテーションコンクール in 羽生」については、新規事業であるが、どのような内容か。</p>

会議事件名	て ん 末	
	学校教育課長	<p>学力向上施策の重要な柱として、学力アップテストを実施する。小学校 4、5、6 年生については国語と算数、中学校 1、2 年生については国語、数学及び英語について、全国学力学習状況調査等をよく研究している業者のテストを使用したい。時期については PDCA サイクルの実施を見込み、12 月頃の実施が適当であると考えている。プレゼンテーションコンクールの全国大会については、羽生市のプレゼンテーションコンクールが大変素晴らしい成果を収めていると市長、副市長からも評価されており、広く声を掛けて参加を募り、全国規模で大会を開催できれば、羽生市の小中学校としてもさらに表現力の向上に繋がることを期待して計画するものである。実施時期は 1 月頃を考えている。</p>
	春山委員	<p>平成 29 年度の教育委員会グランドデザインは、羽生市教育委員会の取組を具体的にイメージできる形になっている。学力向上に重点的に取り組む中で、学力アップテストを実施することのだが、各学校・各学級において基礎学力の現状を把握すること等に、学力アップについてのアプローチをどのように活かしていくことになるか。</p>
	学校教育部長	<p>学力アップテストとして想定している業者のテストは 12 月に行い、1 月には結果が出る。これは個々の児童生徒について、不得意とするところ等を分析したものと、その子に合った問題集も提供される。先生がそれを使って指導ができたり、児童生徒が家庭学習に活かしたりすることができるものである。先生が個々に分析するのはなかなか難しい事があるため、それは大変助かることだと思う。</p>
	教育長	<p>学力向上グランドデザインのアプローチ 4「学力向上年間計画」の取組が、春山委員の意見に対しての回答となると考える。5 月に重点取組計画書を作成し、学校教育部長と学校教育課長が学校へ行き、計画と学力の現状を確認する。そして校長、教頭と共に学力・学習状況調査の結果を分析し、課題克服の成果の見届けまで徹底して行う。昨年度までは学力に特化して教育委員会の部長と、課長が学校を訪問することは無かったが、今年度に引き続き次年度以降も訪問を実施し、それを定着させることができると良</p>

会議事件名	て ん 末	
	春山委員	<p>いと思う。業者の協力により、全国版の達成度もみられる学力アップテストを実施し、しかも個々の学力に合わせた問題集の提供もあり、教員の負担も軽減できることは魅力である。一人一人の学力が確実に伸びる方法を取っていききたい。</p>
	学校教育部長	<p>平成 29 年度の学力向上の取組においては新規事業が 2 つ増えるが、先生方の負担をできるだけ増やさず、これらの事業の成果を得ることは大変難しいと思うが、それをどのように考えているか。</p>
	教育長	<p>今年度まで 6 年間実施してきたアドバンススクール事業は、各学校の特色ある取組が進んだということを一定の成果と捉え、新規事業に移行するために休止することとした。学校がこれまで取り組んできたものは、継続できるように支援はしていくが、新しい提案や取組を学校に求めない。これにより教育委員会の事業も減らしたことになる。</p>
	教育長	<p>協議事項 1 については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項 1 については、承認された旨宣した。</p>
<p>協議事項 2 夏季休業中の学校閉 庁の試行（案）につ いて</p>	教育総務課長	<p>協議事項 2 について教育総務課長から説明を求めた。</p> <p>平成 29 年度から小中学校の夏季休業期間内において、学校の閉庁を試行したい。夏季における学校の省エネルギーを図ること、教職員が休暇等の取得を促進することにより、健康増進を図ることを目的としている。閉庁期間は 8 月 13 日から 16 日の 4 日間とし、閉庁期間中における緊急の連絡については、学校教育課が直接電話を受けられるようにする。周知は保護者、自治会長に対し通知文の配布、一般及び市民に対しホームページ並びに広報はにゅうへの掲載にて行う。</p>



会議事件名	て ん 末	
協議事項3 平成28年度小・中学校卒業式教育委員会告辞（案）について	教育長	協議事項2について質問・意見を求めた。
	高瀬委員	年末年始と同じように日直も置かないということか。
	教育総務課長	その通りである。
	古市委員	その期間は世間的にお盆休みであるため、もっと前から休みにしても良かったと思う。まとまった期間で旅行をしたり、趣味に興じたり、研究したりということが学校の先生にとっても必要であり、もっと拡充しても良い気もする。
	学校教育課長	学校の職員は夏季休業中が最も休暇が取りやすく、現在は夏季休暇5日間に年間通して取得可能なマイリフレッシュ休暇が3日間、計8日間取れるよう、以前と比べて拡充されている。休暇を取得しやすいように教育委員会としても働きかけているところである。
	教育長	任意で取得できる休暇があることを考慮し、学校閉庁の期間は当面13日から16日とすることによろしいか。  異議なしの声あり
	教育長	協議事項2については、承認された旨宣した。
	教育長	協議事項3について学校教育課長から説明を求めた。
学校教育課長	これから変化の激しい社会において、今日本人が求められているコミュニケーション能力として人前で自分の考えを表現出来る力を身に付けて欲しいという、小学校、中学校に共通する教育委員会からのメッセージを込めて、小学校は清水卯三郎、中学校は青山学院大学の原晋監督の事を取り上げて告辞案を作成した。	

会議事件名	て ん 末	
	教育長	<p>小学校、告辞(案)を読み上げた。 中学校、告辞(案)を読み上げた。</p> <p>協議事項3について質問・意見を求めた。</p>
	古市委員	<p>今年の題材の選び方は素晴らしいと思う。小学校の方で取り上げた清水卯三郎という人は、大変奥行きのある人物である。例えば、当時の世の中で蘭学では通用しないことを悟り、これからは英語でなければと、ゼロから英語を勉強し、数年後には英会話の本を作ってしまう程の努力をしたこと、パリ万博では、現在でも通じる日本の「おもてなし」の伝統を紹介したこと、そのようなことが何故出来たのか、それがプレゼンテーション能力であるという流れが良いと思った。パリ万博での卯三郎の活躍により、フランス人は今でも日本びいきである。卯三郎については短い時間では語りきれないため、卒業式の後教室で、担任の先生からエピソード的にその他のエピソードを補足してもらうのも良いのではないか。そのための素材を教育委員会で作成し、参考に配布してはいかがか。</p>
	柿沼委員	<p>卯三郎のプレゼンテーション能力に関連し、昨年度東京工業大学の学長が英語でスピーチしたように、告辞の一部を英語で話してはどうか。</p>
	学校教育課長	<p>古市委員からの意見について、「おもてなし」に関する事項は入れていきたい。フランスが日本びいきということは、話しの流れの中で入れられるか検討したい。エピソード的な補足についても、検討する。古市委員の言うように奥行きのある人物であるため、話がどんどん膨らみ、一本筋が通らなくなってしまうため苦労する。蘭学のスペシャリストという事に触れると、話しが二つになってしまうため、プレゼンテーション能力の方に話題を絞った。蘭学の方で進めたなら、柿沼委員の意見のように英語を取り入れることもできそうであるが。</p>

会議事件名	て ん 末	
協議事項4 平成29年度羽生市教育委員会・教育研究会研究委嘱校一覧(案)について	教育長	今回は文字数について昨年度以前と比較しながら告辞(案)の作成にあたった。読み上げ時間を考慮し、文字数を抑えたが、昨年、一昨年よりも増えている。委員の御意見をいただきながら、話を通じる形で修正することとしたい。
	高瀬委員	中学校の告示について、「大学駅伝三冠達成」とあるが、三冠とは何か、説明しないと分からない生徒も多いのではないか。
	古市委員	「はい」、「はい」と答える選手は素直に見えるが、選手としては自主性に欠けあまり伸びないとあるが、社会人にとっては素直なことは決して悪いことではない。聞く人が素直であることが悪いことと捉えてしまうと良くないので、三冠達成ということがどれだけ凄い事か、その偉業を成し遂げるためには、「自己管理について自分の言葉で具体的に、詳しく話せる選手を選ぶ基準とした。」という流れとした方が良いのではないか。
	教育長	素直さも必要であるが、自分の考えをしっかりと持つことが大事だと原監督は言っている。そのことを上手く表現し、伝えられる構成とすべきであろう。
	学校教育課長	委員の意見を参考に、文章の全体量を考慮しながらより良くなるよう、再検討したい。
	教育長	協議事項3については、各委員の意見を踏まえ修正し、次の教育委員会で再提示することとしてよろしいか。  異議なしの声あり
	教育長	協議事項4について学校教育課長から説明を求めた。
	学校教育課長	平成29年度は、委嘱2年目となるのが羽生北小学校、羽生南小学校、西中学校で、研究発表を行う。2年間の1年目として新たに委嘱されるのが手子林小学校、村君小学校、南中学校である。緑化教育指定校は羽生北小学校である。

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第4 議案第1号 議会の議決を経るべき議案について（平成29年度教育費予算について）</p>	教育長	<p>協議事項4について質問・意見を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>協議事項4については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項4については、承認された旨宣した。</p>
	教育長	<p>これより非公開の審議に移る。</p> <p>議案第1号について教育総務課長から説明を求めた。</p>
	教育総務課長	<p>平成29年度予算案の内、平成28年度予算と比較して増減の大きなものについて説明する。</p> <p>歳入については、教育総務課の小学校債が190,600千円の減額となるが、平成29年度は小学校校舎の大規模改造工事がないことによる。中学校債は、西中学校校舎3号館の大規模改造工事が予定されているが、この工事は、議案第2号で説明する平成28年度補正予算を繰り越して執行される関係で、平成29年度当初予算では8,800千円の減額となる。学校教育課では、教育費国庫補助金が、フューチャースクール研究事業に対する補助金が無くなった関係で3,500千円の減額となる。給食費納付金は、予定する食数が減ることにより6,611千円の減額となる。</p> <p>歳出については、教育総務課の小学校施設建設事業費で、267,000千円、中学校施設建設事業費で15,800千円の減額となるのは、歳入の減少と同じ理由によるものである。</p> <p>学校教育課では、フューチャースクール研究事業を休止するため、歳入の減少と同じく3,500千円の減額となる。中学校費の教育振興一般経費では、4年に一度の教科書の入替えについて平成28年度で計上していたものが無くなった事により、5,540千円の減額となる。学校給食施設一般経費については、歳入と同じく予定する食数が減ることにより5,692千円の減額となる。</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>生涯学習課では、公民館一般経費において、平成 28 年度は中央公民館大規模改修工事の実施設計があった関係で、平成 29 年度は 11,262 千円の減額となった。産業文化ホール一般経費が 10,753 千円の減額となったのは、必要とする修繕料及び機械器具費が減ったことによる。</p> <p>スポーツ振興課では、必要とする施設の整備工事請負費が減ったことにより保健体育施設一般経費が 5,925 千円の減額、中央公園運動施設管理事業が 3,120 千円の減額となっている。</p> <p>図書館・郷土資料館では、郷土資料館一般経費で、公用車を購入することにより 2,500 千円の増額となっている。</p> <p>平成 29 年度の教育費当初予算額の合計は 1,720,028 千円となり、平成 28 年度より約 3 億 2,000 万円の減少となるが、実際は西中学校校舎の大規模改造事業費が繰り越されることにより、1,870,000 千円程になる。これは平成 26 年度の当初予算と同等の規模である。</p> <p>教育長 議案第 1 号について意見・質問を求めた。</p> <p>古市委員 産業文化ホール一般経費が 1,000 万円程減っているが、現在あるピアノの劣化がだいぶ進んでいると聞いたことがある。施設にとって重要な楽器であるため、計画的に更新することを検討していただければと思う。</p> <p>高瀬委員 歳出について、各課の推進事業では増減額共に少額であるが、スポーツ振興課の生涯スポーツ推進事業では 136 万円もマイナスとなっているのは、どのような理由か。</p> <p>スポーツ振興課長 生涯スポーツ推進事業には、各種事業が盛り込まれている。それらについて、参加人数や希望等を見直して事業費を積み上げた結果、減少したものである。大幅に事業を削減したという事ではない。</p>

会議事件名	て ん 末	
議案第2号 議会の議決を経るべき議案について（平成28年度教育費補正予算（第6号）について）	柿沼委員	学校教育課の方で中学生の海外派遣事業の予算が0円となっているのはなぜか。また、教育費の当初予算の合計額が平成27年度から毎年10%程度減っていることについては、どのような理由によるものか伺いたい。
	学校教育課長	中学生海外派遣事業は、中学生の海外派遣を2年に1回行っており、平成29年度は逆に姉妹都市から中学生たちが羽生市にやってくる。平成30年度は再び予算を計上することとなる。
	教育総務課長	予算額の推移においての年度ごとの差額については、主に施設の大規模改造工事で、建物の規模により大きな額が増減することによるものである。
	教育長	議案第1号については、よろしいか。  異議なしの声あり
	教育長	議案第1号については、可決された旨宣した。
	教育長	議案第2号について教育総務課長から説明を求めた。
	教育総務課長	埼玉県教育委員会から、1月11日付で国の平成28年度第2次補正予算による西中学校校舎3号館大規模改造工事に対する交付金の採択に関する内定の通知があった。これにより、同工事に係る事業費について補正予算を計上するものである。ただし、実際は平成28年度内に工事を完成させることは不可能であるため、予算を繰越し、平成29年度において工事を執行することになる。
	教育長	議案第2号について意見・質問を求めた。  特になし

会議事件名	て ん 末	
<p>議案第3号 平成28年度学校歯科 医の委嘱について</p> <p>議案第4号 羽生市社会教育委員 の委嘱について</p>	教育長	議案第2号については、よろしいか。
		異議なしの声あり
	教育長	議案第2号については、可決された旨宣した。
	教育長	議案第3号について学校教育課長から説明を求めた。
	学校教育課長	学校歯科医に欠員が生じたため、対象者に委嘱することについて、議決を求める。任期は前任者の残任期間で、平成29年3月31日までである。
	教育長	議案第3号について意見・質問を求めた。
		特になし
	教育長	議案第3号については、よろしいか。
		異議なしの声あり
	教育長	議案第3号については、可決された旨宣した。
教育長	議案第4号について生涯学習課長から説明を求めた。	
生涯学習課長	羽生市社会教育委員に欠員が生じたため、対象者に委嘱することについて、議決を求める。任期は前任者の在任期間で、平成29年6月30日までである。	
教育長	議案第4号について意見・質問を求めた。	

会議事件名	て ん 末	
	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育総務課長</p> <p>教育長</p>	<p>特になし</p> <p>議案第4号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p> <p>議案第4号については、可決された旨宣した。 これより会議を公開とする。</p> <p>次回教育委員会日程について事務局より説明の旨。</p> <p>2月28日 午後1時30分から第1回臨時教育委員会を教育委員室にて開催する。 3月定例教育委員会は、3月23日 午後3時より教育委員室にて開催する。</p> <p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>